

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	甲府 仲見世の路地
所在地	甲府市中央 4-3

【推薦する理由（路地のよいところ）】

甲府市の中心市街、銀座通りとコリド桜町通りの交差点にある「銀座まちの駅」の裏にあるL（エル）字型の路地である。入口は、銀座通りが「甲府銀座プラザース」の横から、コリド桜町通りが「桜座」の前からが入口になる。コリド桜町通りから見ると2メートルほどの路地で、奥行は30メートルほど、銀座通りからは10メートルほどの奥行である。コリド桜町通りから見ると、間口2間程の3階建てのビル2棟に挟まれた形で路地がある。

銀座通り側から入るとあるふぐの富久亭、創業45年のふぐ料理の老舗ですが、約35年前から「おでん」をメニューに入れたそうで、20種類ほどのタネを用意している。基本的に、食事は屋根のある「屋外」。雰囲気満点の「屋台」もあるので、美味しいおでんをつついてみては、

【写真添付】



上：ふぐの富久亭
 右：飲み場所
 左：桜町通り側
 右上：路地

路地	面積	約 h a	路地の延長	約 40 m
のまちのまちの概要	成り立ち、特色等	<p>路地で衣料品店を営む女性経営者に話を聞くと昭和30年代にビルが建設されたそうである。最初は、路地の両側に20近い店舗が軒を並べていたそうで、現在はわずかに5・6店舗、再開発の計画が起これば跡かたもなく消えそうな路地である。</p> <p>かつて銀座通りやコリド桜町通りは、人で賑わい甲府市の商業の中心地であった。特にえびす講の時には、人であふれかえり身動きも取れない状態であった。そのような客を目当てに建設されたビルの間でできた路地である</p> <p>建物の形状から見ると元々、商店街で働く人たちの長屋的な建物があったのではないかと推測される。中心市街地の商業がにぎわいを増す中で建て替えが起こり、1階部分が商店に2回以上が、従業員の住居として利用されたのではないかと思える。</p>		